

仙白園プロジェクト



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

「6月の仙白園プロジェクト・人」は、5月に引き続き新たな若者（大学生）がメンバーに加わり、若者・チャボの小中学生・サポーターの方々が協力して、活動を盛り上げることができました。

今回の活動のメインは絹さやの収穫！4月に種を播き、5月にネットを張り、6月に満を持しての収穫となりました。よ〜く見ると、葉っぱの陰にふっくらと育った絹さやが顔をのぞかせています。それを見つけて歓声を上げるチャボの皆さん。その姿はまるで、宝探しのようでした。

歓声といえば、活動の最初に、大学生がチャボの皆さんに対して「何の苗クイズ」を行いました。トマト、ナス、パプリカ、そして落花生の苗を前に、チャボの皆さんは頭を悩ませていました。一番難しかったのは落花生でしょうか？仙白園でしかできないクイズ、**仙白園だからこそ得られる学びの時間**でした。



活動終了後は、収穫した絹さやを、地域のNPO法人「あかねグループ」に学生全員で届けに行きました。地域の御年輩の方々に届ける弁当の具材として使われるとのことでした。

若者・地域の方々が協力して育てた野菜を、地域に提供することで社会貢献を行いたいという若者の思いが、今年の仙白園活動の原動力です。

畑の野菜とともに、若者の思いも実を結び始めました。今後も様々な方々に御協力をいただきながら、若林区だからこそできる地域貢献活動を続けていきたいと思ひます。



高校生～30代程度の参加者大募集！あなたの力で地域を動かしてみませんか？
若林区中央市民センター 286-1901(担当:青沼) ホームページもご覧ください→

